

Q3 担当している業務とやりがいを教えてください。

A3 工事現場で足場を組み立て、解体する業務を担当しています。主にプラント事業での足場工事が多いですね。業務の流れとしては、まず、現場作業前の打ち合わせを行います。この段階で「どのような足場を組みむべきか」や「段取りはどうするか」を考えて、頭の中でイメージを整え、現場に入ります。実際に現場での作業が自分のイメージ通りに進むと、なんともいえない高揚感があり、それをやりがいだと感じています。



主任 淵上 真さん

Q4 成長できたこと、また今後の目標について教えてください。

A4 入社前に比べて忍耐強くなったと思います。どの仕事も、楽しさ2割で辛さが8割とありますが、皆で仕事を達成したときの達成感、その辛さを打ち消す以上の喜びを与えてくれます。その達成感を得るために、辛いと感じても逃げ出さずに仕事をやり遂げることができるようになりました。今後は、後輩にも同じような思いで仕事に取り組んでもらえるように育成したいと考えています。



社長の熱い想いに刺激を受ける学生たち

【インタビュー企業の連絡先詳細】

- 会社名：株式会社 まちだ
- 所在地：大字頓野 569 番地 16
- 電話：29-0516
- ファックス：29-0518
- ホームページ：
<http://www.machidakk.sakura.ne.jp>

【この記事に関する問い合わせ先】

- 商工観光課 工業振興係
- 電話：29-3155
- メールアドレス：
n-kogyo@city.nogata.fukuoka.jp

取材を終えて

足場には多くの種類があり、様々な現場に対応できること、また、福岡県だけでなく、全国的に多くの仕事に関わっていることを知り、とても驚きました。

(米原 ひかり)

インタビューの経験がなく、とても不安でしたが、社長に優しく接していただき、リラックスして取材に臨むことができました。また、社長や社員の方の熱い想いを聞いて、とても良い刺激を受けました。

(岩切 広優)



本社前で記念撮影

Q5 ともに働く仲間として、どのような人材を求めていますか。

A5 真面目で素直な人が弊社には向いていると思います。困難なことでも「ダメだ」ではなく、ゆっくりでいいから「やればできる」と信じて、常に前を向いて、ポジティブに課題に立ち向かってほしいですね。そして、自分がやりたいことを達成できたという実感を持つまでやり通すことが、自身の成長につながると思います。そうすることで、会社としても、時間をかけ、足場を固めて、大きくなることができると考えています。社員全員が安全に、そして幸せと思える会社を目指して、日々、業務に着実に取り組んでいきたいですね。

「地場産業を知ろう」第19回 学生レポート 足場づくりのプロフェッショナル集団！ 株式会社 まちだ

市民の方に地場産業を知ってもらおうと、大学生が市内の企業取材しました。今回は頓野にある「株式会社 まちだ」を紹介します。



社長からの足場の説明に学生たちも感心

北九州市立大学 2年生
岩切 広優さん

北九州市立大学 2年生
米原 ひかりさん



私たちがインタビューします!



本社敷地内の植木には足場が設置されていて、社長自ら剪定

Q1 事業内容を教えてください。

A1 建設現場の足場の設計から組み立て、解体までの一連の工事と建設資材のリースを専門に取り扱っています。建設会社や土木会社から依頼される足場工事が主な事業となり、県内のみならず、全国的に仕事を請け負っています。直方に移転する前は、本社が水巻町、建築資材の機材センターが北九州市八幡西区にありました。作業効率向上の観点からこれらを一カ所に集約したいと考えて、八幡インターの近くである「交通の便の良さ」、そして会社を集約できる4000坪の「広い土地」があった直方市頓野に移転しました。



代表取締役 町田 寛明さん

Q2 「のおがたわくわ〜く」といった市内のイベントに参加するなど、地域貢献を大切にされていますが、そこに込められた思いを教えてください。

A2 一つは市内に「まちだ」という会社があるということ、もう一つは足場工事の仕事内容を知ってもらいたいという思いから参加しました。「のおがたわくわ〜く」では、小学生たちに20メートル級の高所作業車に乗る、足場を自分で組み立てて自分で登る等の体験を通じて、知識のみではなく、心身で理解してもらえたのではないかと思います。今後も市内のイベントに積極的に参加し、直方の足場を支えるつもりで、地元の方との付き合いを大切にしたいと考えています。

(株)まちだの歩み

- 2001年 中間市において町田組を設立
- 2005年 水巻町において(株)まちだを設立
- 2009年 本社と機材センターを頓野に移転